

COSMORAMA



風 ブロンズ像(図書館前)



70
2004 May

せとのまちを 盛り上げる

瀬戸市近郊の6大学の学生が瀬戸「スプリングフェスタ」に共同参加
「大学コンソーシアムせと」本学学生の活動報告



Interview

このほど開催された瀬戸市のスプリングフェスタに「大学コンソーシアムせと」(共同イベント部会活動)として参加した本学の中島章浩さんと野坂泰弘さんに中田 晃学生課長(司会)にインタビューしてもらいました。

最初に「大学コンソーシアムせと」と共同イベント部会について、簡単に説明しましょう。

2005年3月から瀬戸市を中心として国際博「愛・地球博」が開催され、瀬戸駅前ビルも完成しますが、その駅前ビルを活動拠点とした「大学コンソーシアムせと」(以下「コンソーシアム」)が昨年発足しました。



中島章浩さん
経済学部3年
(大学祭実行委員会副委員長)

野坂泰弘さん
経済学部3年
(大学祭実行委員会イベント部会)

CONTENTS

Interview

- 1 せとのまちを盛り上げる

Topics

- 2 2004年度入学式を挙行
3 基礎教育センターが活動を開始 赤楚治之
4 外国語部の新学科構想 清水克正
5 2004年度入試結果と2005年度入試に向けて

Essay

- 6 シリーズ② エッセイ 異文化に接する 湯浅康正

Campus Now

- 7 私の講義日誌 中村義寿
8 聖書と教室⑥ 栄光館
新入生合宿を実施
9 サークル短信 文化会「人コミュ倶楽部」
チャペルのかたすみで⑩
オルガンCD
10 本学のまちづくり活動とその教育的活用について 水野晶夫
11 万博ボランティアの募集について 教育振興資金 募金の御礼とご報告

Information

- 12 2003年度学位記授与式を挙行
NGUチャペルコンサートを開催
2004年度父母会総会のご案内と
父母懇談会のご案内
創立40周年記念講演会を開催
2004年度 新任者紹介
2004年 6月～10月 行事予定

COSMORAMA (コスモラマ) の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

参加大学は名古屋学院大学を始めとして、愛知工業大学、金城学院大学、中部大学、名古屋産業大学、南山大学の6大学です。「コンソーシアム」の活動は6つの部会があつて、「共同イベント」「まちづくり」「エクステンション」「図書館連携」「インターシッブ」「単位互換・共同講座」の部会が、それぞれ今年から活動を開始することになっています。

スプリングフェスタとはどういったものですか。

瀬戸市の「陶祖まつり」をさらに盛り上げるため、「愛・地球博」に協賛事業として開催されています。昨年から一部の大学が参加していましたが、今年は「コンソーシアム」として参加しました。瀬戸市文化ホールを会場として、瀬戸市の特産品の販売や大学の模擬店、バンド演奏、万博をもっと知ってもらうための展示(モリゾー、キッコロも登場しました)などが行われました。

一つのイベントを企画・実施することは大変なことですが、まして他大学のみなさんと共同で開催されましたが、企画から実施までにどんな苦労がありましたか。

やはり、最初は、各大学や瀬戸市のみなさんと一緒に、とても緊張して、積極的な意見も発言できませんでしたし、文化ホールという大きな会場ということもあり、すべてを把握しながら考えることができませんでした。自分たちが中心となって運営するイベントですので、自覚をもって行うことができました。

主な企画内容はどんなものでしたか。

文化ホール内の企画、ホール外のフロア、広報と3つに分かれて、それぞれ活動をしました。ホール内では主に瀬戸市の他の団体や各大学の音楽サークルのみなさんに出演してもらい、フロアでは、子どもが遊べる広場や万博ハウス、物産店、大学模擬店を中心に実施しました。広報はポスター、ビラの作成を行い、



中田学生課長(右)と中島さん、野坂さん

各大学や駅に掲示してもらったり、瀬戸市の広報誌に折り込んでもらいました。

学生のみなさんの「のり」はどうだったでしょうか？

それぞれ大学を代表してきた人たちでしたので、良いライバル意識を持ちつつ、個性豊かな人柄ばかりの人が多く、いい刺激を受けながら、お互いに会話が弾みました。模擬店やホールの企画の依頼をこころよく引き受けて

くれましたし、同年代とすることで、すぐ打ち解けることができました。

当日のスプリングフェスタ

には多くの瀬戸市民や高校生・大学生のみなさんの参加がありましたか？

運営する立場から、当

日は多くの人に来ていただけ不安でしたが、文化ホール会場にもたくさん市民のみなさんが家族づれで足を運んでいただいたこともあり、大学の模擬店も、市民のみなさんのブースでも売り切れがでるほどの賑わいでした。

このことは、多くの市民のみなさんがボランティアとしても協力していただいたからだと思います。

こうした企画や「大学コンソーシアムせと」をベースに6大学の学生さんたちの交流が広がるわけですが、どんなことに期待しますか？

今回、各大学のみなさんと瀬戸市と共同の活動ができたことは、各大学のことや瀬戸市の活動などを知ることができ、良い刺激となりました。私たちにとって、今後につながるいい経験となったと思います。これらの経験をもとに、さらに他大学との交流を保つことで、本学の大学祭の発展にもつながっていくこともできると思います。そして、各大学とも協力しながら、大学や瀬戸市を活性化させていきたいと思います。

どうもありがとうございました。これからも本学の学生のみなさんとともに本学や瀬戸の街を盛り上げていってください。



ジャズ研究会の演奏

2004年度 入学式を挙行

4月1日(木)午前10時30分から栄光館で2004年度入学式が挙行されました。

桜満開の、春の日差しのもと、つぎつぎと到着するスクールバスから喜びに満ちた新入生のみなさんが降り、桜プロムナードから式場への途中、多くの先輩たちから歓迎のエールを受けていました。

式典は、新入生のみなさんを始めとして、多くのご父母、来賓の出席のもとキリスト教主義大学らしく、葛井宗教部長の祈禱のもと聖書朗読、賛美歌斉唱で始まりました。

持田学長からは「NGUファミリーの絆としての『敬神愛人』の意味、そして大学での学び方」という新入生のみなさんを歓迎する式辞があり、それに応えて大学院生の西出



善紀さん(経済経営研究科経済学専攻)、学部平野隆さん(経済学部経済学科)および留学生別科のNgograteptam, Punipさん(タイ)から力強く宣誓がありました。

今年から新入生のみなさんを歓迎し、さらに式典を盛り上げるため、奉獻演奏がとり入れられ、テレマン作曲の「優雅と威厳(12の英雄的行進曲より)」がトランペット演奏(奏者:鈴木朋宏さん)されました。

また、付き添いのご父母には、式終了後学内ツアーとして、キャンパスを開放、自由に見学をしていただきました。



持田辰郎学長



先輩たちから歓迎をうける新入生

学生数(大学院・学部・留学生別科) 2004年5月1日現在

	研究科	専攻(課程)	1年	2年	3年	合計	
大学院	経済経営	経済学(修士)	4	7		11	
		経営政策(博士前期)	25	87		112	
		経営政策(博士後期)	4	9	24	37	
	外国語学	英語学(修士)	5	8		13	
		中国語学(修士)	4	5		9	
	通信教育課程	英語学(修士)	21	24		45	
	合 計		63	140	24	227	
学 部	学 部	学 科	1年	2年	3年	4年	合計
	経済学部	経済学科	291	300	337	386	1,314
		政策学科	161	158	150	149	618
	商学部	商学科	167	202	293	328	990
		情報BC学科	153	100			253
	外国語学部	英米語学科	156	139	176	167	638
		中国語学科	54	57	50	46	207
		合 計	982	956	1,006	1,076	4,020
留学生別科						28	
総 合 計						4,275	

※情報BCは情報ビジネスコミュニケーション学科の略称です。

本学では、学生たちの「はじめからやってみよう」「もっとやってみよう」という気持ちにこたえるため、基礎教育センターを開設しました。学習上のこうしたチャンスに手を差し伸べることでできるネット（仕掛け網）を張っておきたい。学習支援のための「基礎教育センター」は、そのような背景から出てきたものです。しかし、「基礎教育センター」を開設します。関心のある学生は来てください。という掛け声だけでは現代の大学生にはアピールできません。外発的な動機付け（成績、単位、教員からの指示など）がかつてのようには機能しなくなり、楽しくて有意義と感じられないものにはくらくらしてこないのが、現代の学生気質であることを私たちは経験的に知っています。そこで、ただ学生が来るのを待つのではなく、どのようなものが彼らをひきつけるのかを探っていく必要があります。その意味で、このセンターは「内発的動機付けの方法（学ぶ意欲を触発させる方法）」を探っていくことも要求されています。

そこで、参考とすべきは、本学の教職員によるいくつかの実践や他大学における成功事例です。そこには「教わる者と教える者がいつしよになつて前者のもつ問題に取り組む」という姿勢が共通項として浮かび上がってきます。つまり、学生たちと話し合いながら、問題を探り、適切なアドバイス（や課題）を出し、その進展を見守り、検討しながら、次の課題を与えていくというやり方です。センターでは、まず「英語チャレンジ」のプログラムからスタートします。本学には「国際性」のイメージがあり、若者たちの異文化への好奇心も根強く、多くの学生たちが海外留学へと出かけます。社会からの英語の要求は依然高いものが求められ、一方で、多くの学生たちが中学・高校での「勉強」に嫌気がさしている現状があります。「英語ができればいいけど、中・高の苦

手意識から抜けきれない。」そのような学生たちに独自のカウンセリングと自学自習システムによって彼らの学習スタイルにあうトレーニングを提供することとしています。講師が、学生とのやりとり（カウンセリング）から、適切な教材（量とレベル）を手渡し、後日（指定日）に持参させ、その場で答え合わせを行い、きめ細やかに、トレーニングをフォローしていきながら、自信と達成感を持たせる方式をすすめることとしています。（ここでの基本姿勢は、「できたら褒める、できなければ励ます」（金沢工大・夢考房（工学基礎教育センター）のモットー）

基礎教育センター（英語チャレンジ）

	月	火	水	木	金
10:30~	独自のカウンセリングと自学自習システムによる それぞれの学生の学習スタイルにあったトレーニング				
昼休み 12:40 ~ 13:35	英会話ラウンジ	英会話ラウンジ	12:45~13:30 英語でLesson 英会話ラウンジ	英会話ラウンジ	英会話ラウンジ
		13:45~14:35 経・商学部のための英会話 (初級1)	学生からの要望による特別企画を 計画予定。	13:45~14:35 経・商学部のための英会話 (初級3)	
		15:15~16:00 経・商学部のための英会話 (初級2)		15:15~16:00 経・商学部のための英会話 (初級4)	
16:50~	英会話ラウンジ	英会話ラウンジ		英会話ラウンジ	英会話ラウンジ
~18:00					

とりあえず「英語チャレンジ」から動き出す基礎教育センターですが、将来大きく発展させたいと思っています。これまでの学習経験から、偏差値教育による、「勉強」や「自分の頭」に嫌気がさしている学生たちに、見失った自信を取り戻させ、「学び」と「大学」のほんとうの意味合いと喜びを見つけることのできる場を、また、そこにいけば自己実現のためにがんばっている仲間に出会うことができる場（学びの溜まり場）を作りあげることがこのプロジェクトの目標であると考えています。

基礎教育センターが活動を開始

あかそ なおゆき
赤楚 治之 (外国語学部教授)



本学では、現在、2005年4月の設置を目指して、外国語学部の新学科として「国際文化協力学科」の申請作業を進めています。2003年11月に学内に全学リニール委員会が設置され、同委員会での協議を経て、構想の実現に努めているものです。

外国語学部は、本学が重視している語学教育と国際交流をベースに、1989年に英米語学科と中国語学科の2学科で発足していますが、これらの2学科では、それぞれの専攻言語について運用能力を持ち、英米語圏または中国語圏の歴史、文化および社会などについての理解を深めることを主眼としています。外国語学部の教育は、言語教育を通して、異文化と異民族の意義を探り、人間と文化の関わりを学ぶことを根底としており、新学科もこうした学部の基本理念に則ったものとしています。

20世紀後半より情報化が驚異的に進み、グローバル化が進展する中において、国際間の人的・文化的な交流はますます盛んになり、異文化および異言語の存在が世界的な現象になっています。ボーダーレス化が進むにつれて、文化のおよび民族的な摩擦による争いは絶えまなく生じており、今まで以上に異文化社会を理解し、その中で活躍できる人材の育成が求められています。このような国際化の進展により、社会構造は変化し、日本の地域社会でも多くの分野および業種において文化的背景の異なる人々と共生・共働することがますます必要となり、

国際文化を理解し、異文化社会の中でマネジメントできる人材が必要とされています。新学科「国際文化協力学科」は、いままでの2学科の言語教育の実績を基盤に、国際文化の理解および国際貢献の立場より異文化社会において専門知識と能力をもつて活躍できる人材を育成することを目指しています。

国際文化協力学科の教育課程は、言語教育をベースに異文化社会への理解を深め、こうした分野に関する専門知識と能力を養成するためのものとしており、学科専門科目として英米語群、国際文化理解科目群、国際文化協力科目群および専門関連科目群を設け、異文化・異言語社会への理解に向けた人材育成の方向性を構築することを目指しています。新たな学科を設置することにより、学部全体の枠が広がり、より実践的に国際社会の発展に寄与できる人材の育成につながり、新たな社会の要請に応えるものと考えています。

当然のことながら、新学科の設置は、既存の学科のさらなる充実を前提にしたものであり、既存の英米語学科および中国語学科においても、カリキュラムおよび授業形態などについて見直す必要があります。それぞれの専攻言語についても、内実を伴う運用能力の達成とその検証方法を見直し、さらに学科専門科目に関しても再検討し、国際的で、現代社会の多様な問題にバランスのとれた視野から対処しうる人材を育成できるようにする必要があります。

Topics

外国語学部の 新学科構想

国際文化協力学科について



しみず かつまさ
清水 克正 (外国語学部長)

2004年度入試結果と 2005年度入試に向けて

2004年度入試結果

学部	学科	志 願	受 験	合 格	入 学
経済	経済	773 (49)	748 (45)	518 (35)	291 (18)
	政策	247 (15)	241 (14)	213 (14)	161 (8)
	計	1,020 (64)	989 (59)	731 (49)	452 (26)
商	商	378 (60)	362 (56)	264 (46)	167 (26)
	情報BC	282 (48)	275 (47)	189 (40)	153 (29)
	計	660 (108)	637 (103)	453 (86)	320 (55)
外国語	英米語	524 (249)	509 (244)	311 (157)	156 (71)
	中国語	82 (34)	77 (33)	92 (42)	54 (25)
	計	606 (283)	586 (277)	403 (199)	210 (96)
総 合 計		2,286 (455)	2,212 (439)	1,587 (334)	982 (177)

※情報BCは情報ビジネスコミュニケーション学科の略称です。

※()内は女子。

大学の2004年度入試結果は別表のとおりでした。2004年度は専願制推薦入試を廃止し、他大学との併願を認める「公募制推薦入試」および「一般入試」(後期B日程入試)を導入したこと等により総志願者数は2,286名(2003年度1,915名)で371名の増加となりました。18歳人口の減少や本学と同系統の学部学科の増加など大学を取り巻く環境が厳しい中(中部地区の大学の大半は志願者減少でした)志願者数の増加は、本学にとって心強いことで、加えて各入試区分の競争倍率は昨年並みの倍率を維持し、とくに一般入試の倍率は近年にない高い倍率となりました。

2004年度における志願者数が増加した理由としては、

- ① 入学者全員にノートパソコンを配布している
- ② キャンパス環境の良さ
- ③ 情報教育・IT環境の充実
- ④ 就職状況が良い
- ⑤ 留學制度の充実
- ⑥ 教育内容

などがあります。

以上(「本学のどのような点に関心を持って受験されましたか」(入学者アンケートから))

このことは本学の積み上げてきた実績(伝統)が多く受験生たちに評価されたからと思われます。しかしながら、18歳人口は急減しており、受験生やご父母および社会に、今年度以上本学への理解を深めてもらうため、さらに本学の実績(伝統)をアピールし、二人でも多くの志願者を得られるよう2005年度は多様な入試改革を行うこととしています。

2005年度入試の主な変更点は次のとおりです。

- ① 新学科入試の実施―外国語学部国際文化協力学科(2005年4月開設予定)
- ② 大学入試センター試験に参加(センター試験利用入試)
- ③ 体験入学AO入試に加え、「自己推薦AO入試」を導入
- ④ 岡山、金沢試験会場の入試日の増設
- ⑤ 一般入試を「名古屋高校」で実施

本学では学生募集のためにさまざまな入試改善改革を試みっていますが、真の本学志願者を得られるのは、在校生のみなさんを始めとしてご父母、卒業生のみなさんの協力なくしてはできません。本学の講義内容や教員構成、そしてキャンパス環境は他大学に比しても優れており、在校生のみなさんが高等学校など母校訪問の時に、本学のその良さを再認識して自信をもつてPRしてもらいたいと思っています。そのために入試広報課では、大学案内や入試要項(無料)などを用意していますのでぜひご協力ください。

2005年度入試日程

学 部

- 10月16日(火) 体験入学AO入試 編入学試験(前期)
特別試験[外国人留学生・帰国子女・社会人](前期)
同窓生子弟対象AO入試
- 11月13日(土) 自己推薦AO入試 スポーツ推薦(前期) 一般推薦
- 11月14日(日) 一般推薦 指定校推薦 特別指定校推薦(前期)
- 12月4日(土) 自己推薦AO入試
- 1月31日(月) 自己推薦AO入試 スポーツ推薦(後期A日程) 編入学試験(後期)
特別試験[外国人留学生・海外帰国子女・社会人](後期)
- 2月1日(火) 一般試験(前期)
- 2月2日(水) 一般試験(前期)
- 2月3日(木) 一般試験(前期)
- 2月27日(日) 一般試験(後期A日程)
- 3月13日(日) 一般試験(後期B日程) 特別指定校推薦(後期)
スポーツ推薦(後期B日程)

2005年度入試より[センター試験]に参加

大 学 院

- 9月18日(土) 経営政策専攻(博士前期課程1期)
- 9月25日(土) 経済学専攻、
英語学専攻、
中国語学専攻(修士課程1期)
- 10月24日(日) 通信教育課程
英語学専攻(修士課程1期)
- 2月5日(土) 経済学専攻、
英語学専攻、
中国語学専攻(修士課程2期)
- 2月12日(土) 経営政策専攻(博士前期課程2期)
- 2月13日(日) 通信教育課程
英語学専攻(修士課程2期)
経営政策専攻(博士後期課程)

大学院2004年度秋学期入試

- 9月18日(土) 経営政策専攻(博士前期課程)



Essay

異文化に接する

ゆあさ やすまさ
湯浅康正
(外国語学部助教授)



フランスのことばや文化の授業を担当している、学生諸君から「フランス人は冷たく、プライドが高く、意地がわるいそうですね? 英語で話しかけたら、わかるのにわざとフランス語で答えたり

するそうですね?」と聞かれることがある。人はさまざまで、人さまざまを認めあつて暮らしているのがフランスのお国柄だから、どんなフランス人がいても不思議はない。しかし、こういう風評の多くは旅行者の経験する誤解が発信源になつていような気がする。

フランス語で答えた商人のおじさんは、単に語学力が不足していただけではないか? 英語を聞きとることはできたが、話す力が不足していたのだろう。フランスの人にとって英語は外国語であり、中年の庶民が英語を苦手にしているのは日本とまったく同じことだ。

小売業で働く人々が日本ほど腰が低くないのはたしかだ。商業も他の職業と同じ、商人と客は対等というのが伝統的な感覚らしい。しかしプロ意識は強いから、商品についてたずねれば、納得のいくまで説明してくれる。日本とちがうのは、個人商店に入る時、「こんにちは」を言わないと、店主は、家族の住まいに無断で踏み込まれたのと同様に不愉快に思うから、応対はとうぜん冷たくなる。

一般にフランス人は公共の場所では、冷淡で、気難しく、近寄りにくい感じがするかもしれない。知らない人に愛想笑いをする習慣もない。しかし、内面は温かく、情が深い。友だちをつくるのは

慎重らしいが、一度友だちになると、厚く濃い友情を発揮してくれる。困っている人に思いやりがあり、行動力、連帯感を見せる。人なつこくて、お茶目なところもある。

地下鉄の車内で前に立っている人から突然、「ムッシュ、その眼鏡いいですね。どこで買ったんですか?」「その靴どこで買ったんですか?」などと聞かれることがある。鉄道の駅で、列車内で初対面の人と会話がはずんだときもある。同乗していたクルマのエンジンが故障したときは、下校中の高校生が数人かけよつてきて、道路の端まで後押しをしてくれた。落とし物をもつて追いかけてきてくれた人もいた。さすが「国境なき医師団」を生んだ国だと納得したものだ。

ローラースケートをはいた子どもが数人、小型トラックの荷台につかまって街を走っていたり、スーツを着用した中年の女性が、通りすがりの果物屋さんにならんだぶどうを一粒むしつて食べたりするのを目にすると、ああいういたずらは日本ではないなと驚き、ちよつと微笑ましくなる。

異文化の人々と接するのは、エキサイティングで楽しい。ただ、多少ストレスがたまるのはしかたがない。だからこんなジョークも生まれるのだろう。「パリは、フランス人さえいなければ、世界で最高の街だ」。



私の講義日誌

「経営学総論」

私は、「専門演習」のほか、「人的資源管理論」、「労使関係論」、「経営学総論」、「経営原理」などの授業を担当しています。経営学をはじめて学ぶ人向けに、この学問の全体をわかりやすく伝えるために設けられた1年次配当の「経営学総論」に関して紹介いたします。

経営学の主たる研究対象は企業や組織ですが、この企業や組織には多様な側面があります。また、その運営に関しても様々な要素を考慮する必要があります。そして、どの側面や要素に着目するかによって相当違った内容の経営学が生まれることになります。ということとは、経営学は本来的に、その研究者の「個性」がとりわけ出やすい学問であるということになります。経営学は

なかむら よしひさ

担当者 中村義寿



学習しにくい科目であるとの声をよく聞きますが、その理由の一つはここににあります。他方その母なる学問とも言うべき経済学や、社会学に比べてかなり新しい学問であるとはいえ経営学は、既に百年の歴史をもっており、この分野における知的共有財産も今日では相当蓄積されてきています。最近では経営学の検定試験なども行われるようになってきています。このようなことから、「経営学総論」の授業においては、自分独自の部分と共有財産的部分をどのように組み合わせて伝えていくか、いつも悩むところとなっています。

経営学といえばまた、経営者や起業家のための学問というイメージとともに、利潤追求のための技術論であるとか、効率や経済合理性中心のクールな学問とのイメージも一般には根深く、そして現に、そのような

内容の経営学も無くはありません。しかし、「企業は人なり」とはよく言われることで、経営学はその中心に人間を置く、きわめて人間的色彩の強い学問であることもまた事実です。そして、経営学はある意味で非常に温かみのある学問でもあることをこの授業で伝えたいと常々思っています。

ところで、大学の授業を受けて戸惑う原因は、何といっても高校のそれとの内容的な非連続性にあるようです。経営学や経済学の場合は、高校では「政治経済」などの科目で断片的にその知識は与えられているかも知れませんが、非常に限られたものでしかありません。しかも、これら科目とて好んで勉強した人は必ずしも多くはないはずです。私の「経営学総論」の授業は、自主性を尊重してあえて出席はとらず、試験も期末試験一回だけというのが伝統(?)となってきました。しかし、自主性はよいとしても、このような点を考慮したときは特に、これまでのような授業は大いに反省すべきとも思っています。そして、具体的な事例を数多く盛り込むなど中身の工夫はもちろんのこと、理解度のきめ細かな把握のために小テストや授業評価などを取り入れた双方向的な授業が今後はますます必要になると考えています。

ともあれ、「経営学総論」の授業を通じて最終的には学ぶことの喜びを少しでも伝えることができれば、と思う昨今です。

(商学部教授)

Campus Now

Campus Now

名前の由来

聖書と教室

シリーズ⑥

栄光館

(えいこうかん)

キャンパス麦粒苑(ばくりゅうえん)中央の右に位置する栄光館は、入学式や卒業式に利用される本学最大の収容人員をもつ大講堂です。収容人員は1,200人ですが、中央の600人席を軸に左右それぞれ300人席に分割も可能となっています。また、栄光館ロビーは学生のみなさんに開放して「いこいの場」としてテーブルや椅子を用意しています。

入学式や卒業式のほか、各種ガイダンスや年2回開催される学生大会や大学祭では映画会・コンサート会場としても利用されています。

■ 総延べ面積1,549.80㎡ 1968年竣工 鉄筋コンクリート造

栄光館(えいこうかん)E

「わたしは思う、今のこの時の苦しみは、やがて私たちに現されようとする栄光に比べると、言うに足りない。」(ローマ人への手紙第8章18節)

キリスト教を信じる人たちは、イエス・キリストを通じて神様の恵みの力(栄光)を与えられるように願っています。それは、決して寝て待つていれば与えられるものではありません。得ようとする努力(労苦)を伴います。しかし、求め続ければ必ず与えられるという確信も持っています。

この「栄光」という名前が、入学式、卒業式(学位記授与式)等の行事に使われる講堂に付けられているのも意義のあることといえます。



新入生合宿を 実施



今年度から新入生のみなさんにいち早くキャンパスライフにとけ込んでもらうため、学部あげての取り組みとして

学外(愛知県労働者研修センター・瀬戸市川平町)での「新入生合宿ガイダンス」を実施しました。これまでは学内でのガイダンスでしたが、合宿によって、さらに身近にクラスアドバイザーや同じ新入生同士が寝食をともにしたガイダンスとなり、キャンパスライフへの不安感の払拭や大学での勉強への心配ことなどの相談ができて、新入生のみなさんにとつて1泊だけの合宿でしたが、内容のある合宿ガイダンスとなりました。

この合宿は商学部、外国語学部が実施しましたが、3日間の学生参加者数は、商学科130名、情報BC学科123名

商学部(商学科、情報BC学科)

- 日時 4月19日(月)商学科、20日(火)情報BC学科
- 内容
- ①ソフトボール終了後バス乗車
 - ②講堂でオリエンテーション
 - ③留学・資格・就職に関する講演
 - ④スポーツ大会表彰式
 - ⑤クラス交流会

外国語学部(英米語学科、中国語学科)

- 日時 4月21日(水)
- 内容
- ①栄光館でのオリエンテーション後バス乗車
 - ②学部合同ミーティング
 - ③学科企画ミーティング 第1部
 - ④学科企画ミーティング 第2部

外国語学部194名で、クラスアドバイザーなど教職員が延べ46名、TA26名が運営にあたりました。

合宿終了後の新入生のみなさんのアンケートによれば、新入生合宿の評価は、「たいへん良い」と「まあまあ良い」とを合わせて50%、「普通である」を含めると78%になりました。改善すべき点は多々ありますが、はじめての合宿としては、良い評価を得たと思います。次年度はさらに充実した内容で実施する予定です。

人コミュ倶楽部



今、振り返ると私が人コミュ倶楽部(以下、人コミュ)の主幹になってから約半年。この約半年の間に色々なことがありました。

まず、最初に昨年12月、人コミュの仲間たちがサンタに扮した銀座通り商店街クリスマスイベント。今年1月には新年の門出に学生が七福神に扮した初えびす。そして愛知万博一年前が迫る3月には同市民プロジェクト団体をゲストに招き3時間のFM番組を開催。新年度を迎えた4月には人コミュ3周年イベントを開催し、感謝の気持ち込めFM放送や創作企画、交流会を含めたワークショップなどを数々の企画を行いました。

人コミュが商店街に乗り出してから早くも3年以上、今日まで商店街という環境で人コミュが商店街イベントを開催できたことは人コミュの活動を暖かく見守り、時には精神的に私たちを支えてくれた商店街の方や地域の人たちがここにいて、そして、なにより人コミュの仲間たちの助け合いがあったからこそ、今、現在の人コミュがあると切に感じています。

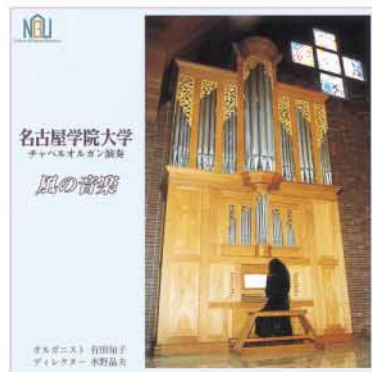
まるで太陽の下にいるようなあたたかな環境の中で数々のイベントを通じて、これから人コミュの主幹として、今よりもっと充実感と笑顔の絶えないサークルにしたい、人コミュの仲間一人ひとりが自分なりの楽しさの発見とその楽しさを人に伝えられるような人になりたい、育てたいと私は思います。

そしてまたこの春、新たに10名近い仲間が加わり、人コミュの挑戦と自分が人コミュに対する挑戦が今、始まるうとしています。

(経済学部政策学科3年 石田健太郎)

— オルガンCD —

キリスト教センター
ふくい さとる
福井 智



チャペルのかたすみで⑩

チャペルには、本学オルガニスト有田知子さんによって演奏された、オルガンCDがあります。トータルテーマは「風の音楽」で、名古屋学院大学チャペルからスタートする銀の円盤、DISKは讃美歌やバッハのオルガン曲へと続き、聞く人の心を、風にのせ、壮大な神の世界へいざなってくれます。

本学チャペルには、年間相当数の人々が見学に訪れ、オルガンの音に耳を傾けておられますが、ひきつづき、ご家庭などで楽しみたいかたには、CDを無料でお分けしています。このCDジャケットにはオルガンの全体像が写し出され、名古屋学院大学チャペルオルガン演奏「風の音楽」と印字されています。また、オルガンの仕様や、チャペルに喜びの歌声が満ちあふれるために役立つ楽器として、北ドイツバロック時代の伝統にしたがって建造したとする、製作者辻宏氏のコメントも掲載されています。数に限りはございますが、現在配布中ですのでご希望の方はご連絡ください。

本学のオルガンは、1984年建造以来、多くの方に奏でられ、聞かれ、そして愛されてきました。チャペルから、キャンパスに流れ出ていく心地よいオルガンの音(ね)を、皆様もCDにてお楽しみください。

この4月で、瀬戸市中心市街地にある銀座通り商店街にまちづくり事務所を構えてから3年、また、事務所を改装して「マイルポスト」という雑貨カフェを始めてから1年半が経ちました。この間、新聞への掲載が60件以上、テレビ番組で取り上げられることもしばしばあり、地域活性化の起爆剤となっただけでなく、大学・パブリシティの一翼を担うとともに、その実践的な社会経験によって、社会で活躍できる人材の育成に少なからず貢献してきたと自負しております。

このような成果から、カフェを拠点とするまちづくり活動の教育的活用について、大学より「名古屋学院大学まちづくり推進プロジェクト」として活動することが認められました。教職員はもちろん地域や父母の方々からの平素からのご理解とご協力にこの場を借りて改めて感謝を申し上げますとともに、今後ともご支援の程をよろしくお願い申し上げます。

さて、このプロジェクトは大きく2つの特徴をもっています。

ひとつめは、このプロジェクトの監督・指導のもと、学生主体でカフェを運営しているだけでなく、「まちづくり」と「自分づくり」を目的としたさまざまな小プロジェクトがこのカフェを拠点として展開されており、カフェが学生たちのコト起こしの場となっている点です。

普段は地域のコミュニティサロンとしてカフ

Campus Now

エを営業していますが、講演会やコンサートなどのカフェイベントも随時開催し、店舗雑貨コーナーでは、瀬戸みやげ推奨品(瀬戸商工会議所主催)やフェアトレード商品、地元瀬戸の作陶家の作品も販売し、イベント時



本学のまちづくり活動とその教育的活用について

～ 名古屋学院大学まちづくり推進プロジェクト ～

みずの あきお
水野 晶夫 (経済学部助教授)

ビジネスモデルや商品開発などの実践的なインキュベーション事業も行うとともに、それらが大学の教育カリキュラムと連携している点です。

マイルポストでは、瀬戸市教育委員会が行うパソコン講座の受講後のフォローアップを低価格で実施しており、多くの市民の方々より気軽に利用されています。これは、パソコン講座を企画運営しているNPO法人(ITサポーター瀬戸)と瀬戸市教育委員会との連携事業であり、公益的なビジネスモデルの一例としても注目を浴びています。

また、地元陶磁器メーカーとの共同開発商品を、マイルポストとバーチャルショップにて販売しています。これは、陶製の携帯アクセサリーセットで、国の伝統的工芸品に指定されている赤津焼に用いられる、織部釉、黄瀬戸釉などの7種類の釉薬「七釉」に注目し、それを一度に表現させた学生たちが発想のオリジナル商品です。

カフェ経営を含めたこのような実践的なビジネス・インキュベーション事業については、インターシッピングプログラムとして単位認定をしており、経済学部のいくつかの授業やゼミも、マイルポストを実践的なサテライト教室として活用しています。

今後は、ビジネスプランコンペの実施やカリキュラム内でのプログラム構築などを通じて、本学の特色ある教育の二環として、そして実践的な教育プログラムとして育てていきたいと思っています。

万博 ボランティアの 募集について

2005年3月25日から9月25日までの間、愛知万博「愛・地球博」が瀬戸地方を中心として開催されます。この期間1,500〜2,000万人といわれる来場者が見込まれ、これらをサポートする二つのボランティアの募集が行われています。

本学では、世界中の人々が訪れるこの万博で、万博会場がさまざまな文化、異文化との交流ができる大切な教育の場と考え、多くの学生みなさんに参加してもらいたいと思っています。この二つの団体は、本学を始めとして近隣大学へもボランティア募集への協力要請をしており、本学も全面的に協力することとしました。すでに全学生のみなさんへは資料配布、CCSでの案内を行っており、近日中には学内での説明会も開催する予定です。

4年間の学生生活のなかで、今後、身近に「世界博覧会」に遭遇することは二度とはありません。せっかくのチャンスですので、積極的に参加してみてください。

「瀬戸市おもてなしボランティア」

2005年日本国際博覧会推進
瀬戸地区協議会・瀬戸市

- 活動場所** 瀬戸市内
- 活動期間** 3月25日〜9月25日
- 活動時間** 1日4時間程度、5回以上
- 研修** 接遇、観光情報、語学、身体介助の研修
- その他** 500円程度の食事代、ユニフォーム支給



「愛・地球博ボランティア」

愛・地球博ボランティアセンター

- 活動場所** 会場および周辺、隣接するターミナル
- 活動期間** 3月25日〜9月25日
- 活動日数** 185日の間の5日以上
- 活動時間** 8:30〜22:30のうち、5〜7時間程度
- その他** 指定する研修に参加すること、ユニフォーム支給

教育振興資金

募金の御礼とご報告

標記の募金につきまして、皆様には、ご支援・ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。本学は本年度、開学40周年を迎えました。教育内容の充実のため熱心に改革に取り組んでいるところです。

皆様からご寄付いただきました資金につきましては、「教育振興資金」として、教育の改革充実のために役立たせていただく所存です。今回は、2003年4月1日から2004年3月31日までににご寄付いただきました方々につきまして、感謝をもってご報告申し上げます。今後とも本学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

(名古屋学院大学教育振興資金募金委員長
学校法人名古屋学院大学理事長 伊藤 信義)

寄付者ご芳名(順不同・敬称は略させていただきます)

父母会関係

青木まゆみ	浅田 光治	足立 益一	石津 勝治	井関 洋一	井出 強	伊藤 勇	伊藤 一郎	伊藤三四郎	伊藤哲夫	井上 康宏
岩田 正男	江間 吉弘	大久保昭男	大越偉久雄	大西 静治	大山 卓也	尾上 雅之	影目 繁明	門屋 和男	金谷 彰一	河合 博
久保 一紀	桑野 龍二	小泉 敏行	古謝 正文	小杉 公夫	小菅 行男	児玉 康利	小林 茂夫	近藤 和見	後藤 幸三	後藤 友伸
草溪 義晴	草野 憲夫	齊藤 信夫	柴山 成一	茶園 功助	坂本八千雄	佐藤 博史	島崎 正博	新谷 淳一	菅原 通	杉山 鐘辞
杉村 敏彦	鈴木 敏雄	鈴木 敏代	鈴木 英臣	清 敦	高桑 幸夫	高島 昭博	高山 春雄	田澤 利一	田中 博志	玉腰 信康
土屋 邦彦	釣 仰	寺西 志朗	東松 晃弘	中條 敏広	名倉 哲良	長塚 司	埜崎 秀也	野田 芳孝	芳賀 敏和	早川 理
林 亮二	林 亮二	阪野 惇	福生 雅利	福生 雅利	福川 雅伸	藤井 正人	藤岡 傳	堀江 孝彦	本多 常雄	増井 隆
間瀬 宗則	松田 久	松永 弘司	松本 一男	萬徳 莊一	三浦 博紀	三浦 正郎	宮崎 勝之	宮地 尊司	村山 将博	安田 賢一
山瀬 謙二	山田 辰巳	山田 英喜	山本 隅男	山本 都子	横井 秋夫	渡辺 和久				

95件 1,480,000円

卒業生関係

浅井 泰雄	内ヶ島敏博	太田 忠
奥村 一敏	高橋 成幸	成瀬 昭男
成田 吉勝	林 真喜	盛光 昌泰
山崎 範夫		

10件 1,148,000円

団体

AIU保険	(株)文教
三浦 警子	

4件 2,030,000円

本学教職員(現・元)

秋元 浩一	安藤 実	木下 政宣	新城 岩夫
鈴木 啓司	スライバグ美穂	永田 坦	林 曉雄
藤田 行政	水野 晶夫	李 秀澈	林 晃

12件 770,000円

本法人理事

伊藤 信義	持田 辰郎
清水 克正	玉木 武義

5件 700,000円

2003年度 学位記授与式を挙



2003年度学位記授与式が3月15日(月)午前10時30分から栄光館で挙行されました。

2003年度3月期の卒業生、修了者は学部1,081名、大学院77名、留学生別科6名で、学長からそれぞれ学部、大学院代表に学位記、修了証書が授与されました。

授与式終了後、卒業パーティがキャンパス内、名古屋市内でそれぞれ開催され、最後の学生生活となりました。大学の学部・大学院の卒業生数、修了者数累計は次のとおりです。

学部	経済学部	経済学科	26,608名
	(経済学部商学科8,951名を含む)		
学部	経済学部	政策学科	1,266名
	商学科	3,069名	
学部	外国語学部	英米語学科	2,104名
	中国語学科	665名	
学部合計			32,572名

NGUチャペルコンサート を開催

本学キリスト教センターでは、第44回NGUチャペルコンサートを次のとおり開催します。ご父母を始め多数のご参加をお待ちしています。



大学院	経済経営研究科	402名
	外国語学研究科	44名
	外国語学研究科(通信)	25名
大学院合計		471名

今井奈緒子オルガンコンサート

日時:2004年6月5日(土) 午後3時～
プログラム

M.ヴェックマン

来たれ聖霊、主なる神

J.S.バッハ

クラヴィーア練習曲集第3部より

プレリュード 変ホ長調 BWV552/1

「キリエ、とこしえの父なる神よ」 BWV669

「キリストよ、世の中の人すべての慰め」 BWV670

「キリエ、聖霊なる神よ」 BWV 671

「いと高きところでは神にのみ栄光あれ」 BWV676

フーガ 変ホ長調 BWV 552/2 ほか

父母懇談会スケジュール

開催日	開催地(会場)
8月28日(土)	浜松会場(浜松名鉄ホテル)
	岡山会場(アークホテル岡山)
	松本会場(ホテルブエナビスタ)
9月11日(土)	金沢会場(金沢都ホテル)
	津会場(ホテルグリーンパーク津)
	岐阜会場(ホテル330グランデ岐阜)
9月25日(土)	大学会場

また、すでに前号でもご案内しておりますが、各地域で開催します父母懇談会の日程・会場は次のとおりです。詳細については、別途ご案内させていただきます。

2004年度父母会総会が6月26日(土)午前10時30分から本学で開催されます。総会では、予算・決算および役員改選などの議題審議のほか、学長、学部長から大学の近況や各学部の教育方針について報告させていただきます。詳細については、別途ご案内させていただきますが、多数のご出席をお待ちいたしております。

2004年度 父母会総会のご案内と 父母懇談会のご案内

創立40周年記念講演会 を開催

本学は今年創立40周年を迎えます。

1964年4月に学校法人名古屋学院の設置する経済学部経済学科のみの単科大学として名古屋市中区大幸町(現在の名古屋高校)に開設されました。以後瀬戸キャンパス移転、学校法人分離、外国語学部、商学部の設置と、そして大学院の開設と40年の歴史を刻んでまいりました。

いま、大学を取り巻く環境は厳しいものとなっておりますが、本誌前号の理事長あいさつにもありますように、この40年の節目を、新生名古屋学院大学の新たなスタートとしてとらえ、さらに教育環境の整備をすすめていくこととしています。

この40周年を記念して創立記念日にあたる10月15日(金)に左記のとおりに創立記念講演会を開催することになりました。学生のみならず、ご父母そして同窓生のみならず、多数のご参加をお待ちいたしております。

名古屋学院大学40周年記念・

国際文化協力学科学設置記念講演会

●日時 10月15日(金)午後3時

●会場 名古屋国際会議場 センションホール

●演題 「次なる40年に向けて―新価値の創造―」

●講師 北川正泰(元三重県知事)

このほか、創立記念特別講演会を次のとおり開催します。

●日時 10月14日(木)午後3時

●会場 名古屋グランドパレス(名古屋市中区錦)

●演題 「ゆつくり歩こうなあ」

●講師 福井達雨(止揚学園リーダー)

2004年 6月～10月 行事予定

6月

- 2日(水) 留学生別科フィールドトリップ(伊勢・志摩)
[→6月4日(金)まで]
5日(土) 第44回チャペルコンサート
今井奈緒子オルガンコンサート(チャペル)
7日(月) シティカレッジ2004《コミュニケーション講座「ブロードバンド時代における情報活用のために」》(さかえサテライト)
＜講師:堀田達夫ほか＞
[6月21日(月)まで毎月曜日 全3回]
9日(水) 学生大会(栄光館)
11日(金) 春季献血運動[→6月12日(土)まで]
実用英語技能検定2級・準2級(A2教室)
13日(日) オープンキャンパス(本学)
26日(日) 父母会役員会・総会(本学)

学部長表彰
宗教講演会

7月

- 5日(月) シティカレッジ2004《社会講座「起業のすすめ」》
[→7月12日(月)まで毎月曜日 全2回]
＜講師:バビジノ(株)代表取締役 夏秋 亨 ほか＞
(さかえサテライト)
7日(水) シティカレッジ2004《コミュニケーション講座「英語で万博中級コース」》(さかえサテライト)
＜講師:本学特別講師 J.A.Roskosi Jr.＞
[→9月15日(水)まで毎月曜日全10回]
14日(水) 春学期授業終了
16日(金) 留学生別科修了式
19日(祝) 臨時開講
英語教育セミナー＜講師:サンドラ・マッケイ＞(第3会議室)
[→7月22日(木)まで]
23日(金) 英語教育セミナー公開講演会
＜講師:サンドラ・マッケイ＞(さかえサテライト)
25日(日) オープンキャンパス(本学)
28日(水) 大学院春学期授業終了

8月

- 2日(月) 夏季休暇[→9月16日(木)まで]
10日(火) オープンキャンパス(本学)
28日(土) 父母懇談会(岡山、浜松、松本)

親子陶芸教室(陶芸館)
体育会・文化会フレッシュマンキャンプ

9月

- 7日(火) シティカレッジ2004《コミュニケーション講座「中国語で万博中級コース」》(さかえサテライト)＜講師:本学特別講師 程 群＞
[→11月9日(火)まで毎月曜日 全10回]
11日(土) 父母懇談会(金沢、津、岐阜)
13日(月) 留学生別科入学式
18日(土) 大学院春学期学位記授与式
大学院入試 経営政策専攻(博士前期課程1期)
2004年度秋学期入試 経営政策専攻(博士前期課程)
25日(土) 父母懇談会(本学)
大学院入試 経済学専攻、英語学専攻、中国語学専攻
(修士課程1期)
27日(月) 秋学期授業開始
シティカレッジ2004《社会講座「発展途上国と日本」》
(さかえサテライト)＜講師:林 光洋＞
[→10月20日(水)まで毎月曜日 全4回]
29日(水) 春学期卒業式・修了式(チャペル)

シティカレッジ2004《文化講座「風の音楽ートッカータとフーガを弾こうー」》(チャペル)＜講師:有田知子＞[全4回]

10月

- 5日(火) シティカレッジ2004《健康とスポーツ講座「ゴルフ」の基礎を習得する》(ゴルフ倶楽部大樹)＜講師:坪田暢光＞
[→11月2日(火)まで毎月曜日 全5回]
10日(日) 第7回高校生英語スピーチコンテスト(さかえサテライト)
14日(木) シティカレッジ2004《特別講座「ゆっくり歩こうなあ」》
(名古屋ガーデンパレス)＜講師:止揚学園 福井達雨＞
15日(金) 創立記念講演会「次なる40年に向けてー新価値の創造」
(名古屋国際会議場)＜講師:北川正恭＞
16日(土) 体験入学AO入試
編入学試験(前期)
特別試験[外国人留学生・海外帰国子女・社会人](前期)
同窓生子弟対象AO入試
17日(日) 実用英語技能検定2級・準2級
24日(日) 大学院入試 通信教育課程 英語学専攻(修士課程1期)
26日(火) 留学生別科フィールドトリップ(白川郷・金沢) [→10月28日(木)まで]
29日(金) 臨時休講
第40回大学祭(本学) [→10月31日(日)まで]
陶芸館まつり＜大学祭協賛＞(陶芸館)
在学生による大学説明会＜名学大祭企画＞

西土 彰一郎



所属学部
経済学部

担当科目
行政法、公法概論、
法政策

趣味
山歩き

学生へのメッセージ
ともに勉強できる日を
楽しみにしています

谷口 篤



所属学部
経済学部

担当科目
教育心理学、
教育指導論ほか

趣味
スキー、テニス、読書

学生へのメッセージ
忠恕(まごころ)と思いやり
の心を大切に

仮屋 篤子



所属学部
経済学部

担当科目
民法、市民生活と法

趣味
読書(SFから純文学まで
幅広く読みます)

学生へのメッセージ
わからないことは、気軽に
質問にしてください

高井 幹雄



特別講師

担当科目
会計特講

趣味
スノーボード、
音楽を聴くこと、パソコン

学生へのメッセージ
一緒に頑張って
勉強しましょう!!

加藤 くに子



特別講師

担当科目
英語のリスニング、
英語の読解

趣味
旅行、写真

学生へのメッセージ
楽しく集中して学び、
友もつくりましょう

林 淳一



所属学部
商学部

担当科目
経営戦略論、経営組織論、
経営史ほか

趣味
スキューバダイビング

学生へのメッセージ
古典的著作を味読しよう!

杉山 晃一



キャリアセンター

趣味
旅行、自転車、スキー

学生へのメッセージ
より魅力的な大学に
なるよう頑張ります

安東 真衣



教務課

趣味
映画鑑賞、小説を読むこと、
歌を歌うこと
(カラオケ大好きです)

学生へのメッセージ
充実した学生生活を、
一緒に過ごしましょう

程 群



特別講師

担当科目
中国語演習:総合2a、応用中国語1、
応用中国語3、留学中国語2、
中国語1、中国語7

趣味
旅行、音楽を聴くこと
学生へのメッセージ
外国語を学べば未来は
明るい。加油(頑張れ)!